



富士見市社会福祉事業団(ケアセンターふじみ)

プリセプターシップ(新入職員研修)概要

【プリセプターシップの概要】

先輩介護職員（プリセプター）が新人介護職員である（プリセプティー）と固定のペアを組み、段階的な育成計画を作成しながら、一定の期限内に指導目標を達成できるように日常業務を通じてマンツーマンで指導を行う。

【プリセプターシップの目的】

＜プリセプティー（新入職員）の目的＞

専属の指導者から指導を受ける事により、一貫した知識や技術、業務等を習得することで早期に戦力化できる。また、人間関係など入職当時なかなか相談できないことを専属の担当者に尋ねることで、早期に職場環境になじめるだけでなく、自分が思い描いていた介護現場とのギャップ（リアリティーショック）を緩和し、早期退職を回避する事を目的とする。

＜プリセプター（指導者）の目的＞

新入職員の指導をとおして、自己の知識技術レベルを確認、自己や職場の新たな課題の発見と改善に取り組むなど、一定の経験を積んだ職員の成長を促す事を目的とする

【職員の役割】

①プリセプター

- プリセプター自身が介護実践モデルとなる。
- 現実的な目標の基に指導する
- 基本的な介護技術、業務を中心に指導する
- 技術や業務だけでなく、入居者主体の介護実践とは何かをしっかりと伝える
- チーム員としての役割を認識する
- プリセプティーを支援する
- 失敗や不安に対処できるよう支援する
- 本人の「課題だけでなく」、「いいところ」「改善されたところ」も併せて伝える
- 入居者、職員と良好な関係が築けるよう配慮する
- 指導者の一方的な意見にならないよう、プリセプティーの意見にも耳を傾ける
- 自己の能力に対して自身を喪失させないように配慮する
- 現在もっている能力と不足する能力を査定した上で、現実を受け止める
- 評価はプリセプターとプリセプティー相互で実施する
- 相互に評価する事で、互いの不足している点を確認し、今後の改善に努める。

②管理職の役割

- ペアリングの決定
- 勤務調整及びプリセプターのフォロー
- プリセプターミーティングの進行

③アソシエート（プリセプター以外の職員）】

- プリセプターが安心してプリセプティーに指導が行えるように配慮や協力する。

【ふじみ苑のプリセプターシップガイドライン】

＜ペアリング（組み合わせ）＞

□プリセプターとプリセプティーの組み合わせは、副施設長（代理を含む）及び介護係長、主任が協議の上で決定する。指導開始後、組み合わせに不具合が生じた場合は変更を行う。

＜開始ならびに終了後＞

- ① プリセプターは指導目標及び指導計画立てると共に、プリセプティーと日々、「目標」と「評価」を行い、記録し、指導に努める事。
- ② プリセプターシップ開始後、 月1回プリセプターミーティングを開催し、新入職員の進行状況及びプリセプティーの総合評価を行う。
- ③ 表面的な介護技術や業務だけでなく、根拠のある介護実践を指導すること。
- ④ プリセプターは、担当のプリセプティーが技術や業務の習得だけでなく、職員や入居者と良好な関係が築けるように配慮する。
- ⑤ プリセプターは段階に分け、指導すること。（成長度合いは個々によって異なる）
- ⑥ 問題が生じた場合は、上司（副施設長、係長、主任）に報告し、調整すること。
- ⑦ シフトにおいて、プリセプターが、自分のプリセプティーの指導が行えない場合は、代わりに指導した職員に指導内容などを聞くなどの確認を行う。また、プリセプティーは、他の職員の指導を受け疑問に感じた事などをプリセプターに報告する。
- ⑧ プリセプティーは、疑問に思ったことや、おかしいと思ったことはプリセプターにたずねる事。プリセプターは、些細な事柄でも親身に受けとめ、難しい事柄や全体に係る事柄など回答が困難な事例に関しては、上司に報告し回答する事。
- ⑨ 現場指導終了後も、プリセプターは担当したプリセプティーの技術等に気を配る。また、プリセプティーも同様に問題が生じた場合は、プリセプターに相談する事。